

事業シート(令和5年度予算)

25_林務課_1

事業名	21700 地籍調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	総務管理費		根拠計画		森林整備計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	18	地籍調査費					
担当課	林政部 林務課	内線	2631							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 土地の実態の正確な把握や地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争の未然防止に資する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。 調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行う。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
木材生産量	94,182m ³		149,000m ³
伐採された木材の利用率	56%		50%
地籍調査実施面積	21,601ha		24,881ha

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	191,066	139,159	157,862			
特定財源	国費()					
	県費(地籍調査事業費 3/4)	142,062	102,315	117,000		
	その他()					
一般財源	49,004	36,844	40,862			
個票枝番	主な事業内容					
	測量等委託	190,000	138,266	157,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	160,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
161,170	160,866	160,866	3,004
120,098	120,000	120,000	3,000
41,072	40,866	40,866	4
査定額	説明		
160,000	地籍調査測量		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 地籍調査事業量(換算面積) 4.79km² (高山地域0.97km² 丹生川地域0.54km² 清見地域0.06km² 荘川地域0.03km² 久々野地域1.00km² 朝日地域1.54km² 高根地域0.09 国府地域0.15km² 上宝地域0.41km²)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 着実な事業実施に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 国第七次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 第7次十箇年計画に基づき、計画的に地籍調査を推進するために必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに

事業シート(令和5年度予算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	総務管理費		根拠計画				森林整備計画、環境基本計画、過疎地域持続的発展計画
			目	19	環境政策費						
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	・都市部の自治体や企業とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、交流・連携を図る。 ・市産材の活用を促進するため、「みなどモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部自治体等へのPRを図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	算出中		12.4万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,334	3,002	9,350			
特定財源	国費()						
	県費(森林づくり交流推進事業費 10/10)	2,760	2,649	5,450			
	その他(カーボンオフセット事業費負担金)	120	135	270			
一般財源		454	218	3,630			
個票枝番	主な事業内容						
	千代田との協同による森づくり(カーボンオフセット)	3,200	2,918	6,000			
	みなどモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	134	84	50			
	千代田区との連携協定による交流事業の開催			3,200			

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
7,810	7,810	7,810	△ 1,540
4,000	4,000	4,000	△ 1,450
1,300	1,300	1,300	1,030
2,510	2,510	2,510	△ 1,120
査定額	説明		
6,600			
50			
1,160			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 9.50ha)
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田区との協定の継続と、市産材の活用など多様な交流の展開等、協定内容の見直しを進める。 ・みなどモデル二酸化炭素固定認証制度における市内木材供給の拡大につながる取り組みを進める。 ・既に交流のある自治体との連携を促進する。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・都市部との連携により、市の森林整備及び市産材の利用を推進するために必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和5年度予算)

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	総務管理費		根拠計画 森林整備計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	19	環境政策費					
担当課	林政部 林務課	内線	2632							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する補助 ・産直住宅建設促進事業者の活動への補助 ・県産直住宅協会への負担金
----	--------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
伐採された木材の利用率	56%		50%
市産材使用量	2,542m ³ /年		2,000m ³ /年

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		85,950	80,593	44,700		
特定財源	国費 (匠の家づくり支援事業費 10/10)	54,000	49,000			
	県費 (匠の家づくり支援事業費 1/2)	250		250		
	その他(ふるさと基金繰入金)					
一般財源		31,700	31,593	44,450		
個票枝番	主な事業内容					
	匠の家づくりに対する助成	78,250	73,595	37,750		
	東濃桧と飛騨の杉の家づくり支援事業	7,000	6,511	6,000		
	高山・中津川林業・木材産業連携協議会負担金	500	286	500		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		38,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
38,450	38,450	38,450	△ 6,250	
250	250	250	0	
38,200	38,200	38,200	△ 6,250	
査定額	説明			
32,500				
5,000				
500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・匠の家づくり支援事業 匠の家づくり支援事業補助金 (建築主市内建築型)119棟 (市外建築型)24棟 ※令和2年9月1日から令和4年3月31日まで補助内容の拡充(市産材使用量1㎡あたり2万円を4万円に、補助上限を新築50万円から100万円・増改築20万円を40万円に拡充) 東濃桧と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金 (中津川市連携事業) 59棟(市産材336㎡)
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・市産材利用の需要を喚起するために必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53100 林道管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画				森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
			目	1	林業総務費						
担当課	林政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
----	-------------------	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
木材生産量	94,182m ³		149,000m ³
伐採された木材の利用率	56%		50%

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		26,289	24,490	26,192		
特定財源	国費()					
	県費(県移譲事務交付金)	212	237	237		
	その他(敷地占用料)	120	310	160		
一般財源		25,957	23,943	25,795		
個票枝番	主な事業内容					
	林道の修繕工事	20,000	18,539	20,000		
	林道の維持管理	3,000	2,840	3,000		
	林業振興アドバイザーの設置	360	360	360		

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		36,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
25,762	25,995	25,995	△ 197	
242	272	272	35	
309	300	300	140	
25,211	25,423	25,423	△ 372	
査定額	説明			
20,000				
3,000				
	53260 100年先の森林づくり推進事業費へ			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・林道修繕工事 23件 ・林道管理委託 19件
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な林道管理に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53200 市有林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	3	林業費		根拠計画		森林整備計画	
			目	2	林業振興費					
担当課	林政部 林務課	内線	2233							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・市有林を適正に管理するため、森林経営計画に基づき、間伐等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術の向上を図る。
----	-------------------------------	----	--

総会計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
木材生産量	94,182㎡		149,000㎡
伐採された木材の利用率	56%		50%

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		13,400	12,405	12,910			
特定財源	国費()						
	県費(市有林整備事業費 10/10)	3,000	2,317	3,600			
	その他(物品売払収入、市有林整備事業雑入等)	1,010	2,302	1,670			
一般財源		9,390	7,786	7,640			
個票枝番	主な事業内容						
	市有林の整備工事	9,800	8,943	9,300			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
13,369	12,910	12,910	0	
3,293	3,200	3,200	△ 400	
2,016	1,960	1,960	290	
8,060	7,750	7,750	110	
査定額	説明			
9,200	保育間伐ほか			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐 8.31ha (一之宮) ・造林工事 2件 ・作業道修繕 4件
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務の林業事業者等への長期委託を進める。 ・業務に必要な費用は事業者により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材の育成を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な市有林管理に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53210 緑の保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	3	林業費	根拠計画	森林整備計画			
			目	2	林業振興費					
担当課	林政部 林務課	内線	2632							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 必要な森林施業を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や木材利用の促進、災害に強い森林づくりを促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げて助成 間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に対して助成 国県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施業に対して、市単独事業により助成
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
木材生産量	94,182m ³		149,000m ³
伐採された木材の利用率	56%		50%
市補助を活用した間伐材搬出量	10,600m ³ /年		12,000m ³ /年
市補助を活用した未利用材搬出量	8,200m ³ /年		12,000m ³ /年

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		69,800	58,981	66,100			
特定財源	国費(緑の保全事業費 1/2)	1,200	1,600	1,600			
	県費(緑の保全事業費 1/2、森林整備地域活動支援事業費 3/4)	5,600	2,747	5,600			
	その他(ふるさと基金繰入金、緑の基金収入)	2,725	1,645	2,508			
一般財源		60,275	52,989	56,392			
個票枝番	主な事業内容						
	間伐に対する助成	21,700	16,665	19,300			
	間伐材利用に対する助成	13,500	15,984	12,000			
	未利用資源活用に対する助成	23,000	19,427	21,000			
	自伐林家型の森林整備に対する助成	5,000	1,579	5,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算	実施計画額	70,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
66,300	66,000	66,000	△ 100	
1,600	1,600	1,600	0	
6,395	6,300	6,300	700	
1,585	2,498	2,498	△ 10	
56,720	55,602	55,602	△ 790	
査定額	説明			
17,000				
12,000				
21,000				
5,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 間伐事業 233.02ha 間伐作業道開設事業 7,855m 軽作業道開設事業 2,000m 間伐材利用促進事業 10,659.987m³ 未利用資源活用促進事業(集運型 8,291.082m³)、(買取型 950m³) 自伐林家型地域森林整備事業 4.95ha 下刈 4.59ha
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 作業道を高密度に開設し、作業の効率化、間伐材の搬出、利用促進が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。 広葉樹施業促進のため、県が開催する研修会への参加などによる森林所有者や事業者への技術指導や普及啓発等を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 森林整備促進や未利用資源活用促進に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53230 林業担い手育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	3	林業費		根拠計画				森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2235								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある林業の情報発信や新規就業者の研修制度活用などによる森林技術者の育成確保を図る。 美しい森林づくりイベントの実施による森林・林業への意識の醸成を図る。 	概要	・高山市における林業等の担い手の確保・育成。
----	---	----	------------------------

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
森林技術者数	163人		200人

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,150	2,800	4,850			
特定財源	国費()						
	県費(林業改良普及事業費 1/2、林業就業移住支援事業費 3/4)	1,850	2,000	1,850			
	その他(森林環境整備基金繰入金)						
一般財源		1,300	800	3,000			
個票枝番	主な事業内容						
	林業グループ活動に対する支援	700	100	700			
	森林技術者の育成確保	300	0	300			
	林業就業の促進	150	100	350			
	林業担い手学生支援事業	0	0	1,500			
	林業就業移住支援事業	2,000	2,600	2,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		5,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,200	4,198	4,198	△ 652	
1,500	1,500	1,500	△ 350	
2,700	2,698	2,698	△ 302	
査定額	説明			
	県の制度廃止			
248	県林業労働力確保支援センター負担金			
450	森林就業ガイダンス			
1,500	県立森林アカデミー学生に対する助成			
2,000	林業就業移住者に対する助成			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 当初、林業グループ6団体の活動事業への支援を行ったが、うち5団体は新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動事業ができず支援取り下げとなった。 高山市美しい森林づくり実行委員会の活動により、林業就業促進ツアーを開催した。 高山市の林業事業体に就業した移住者3名に支援を行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 林業グループの活動(キノコの植菌、薪づくり)により、林業後継者育成、森林所有者と市民等の交流等が図られた。 林業就業促進ツアー参加者が市内の林業事業体へ就業するなど効果があった。 市内で不足する森林技術者の確保に効果があった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 森林所有者の意識向上や森林技術者の育成確保を図るため、引き続き高山市美しい森林づくり実行委員会による林業就業移住につながるイベントの開催及び普及啓発を行う。 移住による林業就業への支援や、岐阜県立森林文化アカデミーの学生への修学支援などにより林業の担い手確保を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課	<ul style="list-style-type: none"> 県立森林文化アカデミーの学生に対する修学支援に必要な経費を計上 移住による市内林業事業体等への就業や森林技術者の確保に必要な経費を計上
-----	--

財務部査定の方	・積算内容を精査
市長査定の方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53240 林道整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画				森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設促進を図る。 林道の早期完成を図る。 林道改良の推進を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 林道宮・高山線の整備にかかる負担金を支出する。 圏域林道事業を活用し、林道の改良を実施する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
木材生産量	94,182m ³		149,000m ³
伐採された木材の利用率	56%		50%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	41,594	37,352	38,922			
特定財源						
国費()						
県費(林道改良事業費 1/2、6/10、2/3)	18,400	18,252	19,800			
その他()						
一般財源	23,194	19,100	19,122			
個票枝番	主な事業内容					
	林道橋りょう点検	4,100	3,960	4,100		
	林道八幡・高山線宮・高山区間建設事業負担金	7,500	4,316	5,000		
	林道改良工事費	25,000	24,805	25,000		
	大規模林道賦課金元利補給金	2,204	1,971	932		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		40,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
41,052	40,986	40,986	2,064	
20,289	20,300	20,300	500	
20,763	20,686	20,686	1,564	
査定額	説明			
5,000				
5,000				
27,600				
576				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 林道宮・高山線整備済延長 10,114m 宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) 受益者組合への補助金交付 2組合 林道改良工事の実施 (上室) 双六～瀬戸線 L=27.0m (国府) 宮谷～明ヶ谷線 L=450.0m 林道橋りょう点検 8橋
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ幹線道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。 林道の改良により、森林の整備及び通行の安全を確保することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 林道宮・高山線については、引き続き、県の代行事業により林道開設を進める。 安全な通行を確保するため、引き続き、計画的に林道改良や橋梁点検等を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	林道の改良及び開設等に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53250 生活環境保全林管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出		
			項	3	林業費		根拠計画				森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2632								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 保健・保全機能の発揮される森林の整備をすとも、森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保護思想の高揚を図り、自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成 生活環境保全林の整備による自然とふれあう場の整備
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じている市民の割合	39.6		↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		15,501	7,819	25,671			
特定財源	国費()						
	県費(観光景観林・集落環境保全整備事業補助金 1/2、10/10)	10,830	3,300	14,850			
	その他()						
一般財源		4,671	4,519	10,821			
個票枝番	主な事業内容						
	施設の維持管理	5,501	5,327	4,671			
	施設の修繕			11,000			
	観光景観林整備	10,000	2,492	10,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
28,804	24,034	24,034	△ 1,637
16,600	14,650	14,650	△ 200
12,204	9,384	9,384	△ 1,437
査定額	説明		
4,734			
9,300			
10,000	せせらぎ街道沿道修景		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境保全林の利用者数 99,534人 遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。 施設の修繕(荘川:公衆トイレ建具修繕) 観光景観林整備(除間伐 7.61ha)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。 老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道等の適切な維持管理を行う。 計画的な施設の修繕を行う。 観光景観林としての森林整備を行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境保全林の維持管理を行うために必要な経費を計上 飛騨美濃せせらぎ街道沿いの森林整備による修景事業の実施に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費	根拠計画	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	2	林業振興費						
担当課	林政部 林務課	内線	2631								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	木材生産区域、環境保全区域、観光景観区域、生活環境区域の4つに分けた市内の民有林について、それぞれの区域ごとに100年後の望ましい姿に向けた森林づくりについて、森林環境譲与税などの活用により実施	概要	・森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路の改良に係る経費に対する補助。 ・森林環境譲与税を活用した森林情報管理システムのデータ整備及び意向調査の実施、森林経営管理の推進支援、境界の明確化の実施
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
木材生産量	94,182m ³		149,000m ³
森林境界調査事業実施面積	546ha		1,600ha
森林経営管理制度に基づき市が実施した森林整備面積	-		650ha

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		98,140	97,843	245,460			
特定財源	国費()						
	県費(地域森林管理士活用事業 23/100、森林環境教育)	2,250	3,888	3,600			
	その他(森林環境整備基金繰入金、森林環境啓発事業繰入)			51,850			
一般財源		95,890	93,955	190,010			
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	森林整備地域活動支援事業補助(スマート林業の推進)	3,000	3,000	1,880			
	森林経営管理アドバイザー等の配置	25,050	24,885	28,000			
	森林管理情報のシステム構築	15,000	14,938	24,000			
	森林境界明確化の推進	21,500	21,505	84,000			
	森林整備の推進	33,500	33,441	92,000			
	市民等との協働による森林整備の促進、林業・森林の普及啓発			5,000			
	作業道の修繕等に対する支援			10,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		247,300	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
228,200	227,840	227,840	△ 17,620				
4,596	4,200	4,200	600				
	29,338	29,338	△ 22,512				
223,604	194,302	194,302	4,292				
査定額	説明						
5,000	スマート林業推進事業補助金等						
27,640							
5,000							
83,000							
92,000							
5,000	市民提案型森林づくり推進事業補助金等						
10,000	森林作業道維持修繕事業補助金						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・協定締結者数 3団体 ・森林経営計画の作成促進、森林境界の確認及び測量等 ・森林情報管理システムのデータ整備 ・森林境界調査事業 滝町、丹生川町日面、国府町桐谷(280.00ha(換算面積10.00ha)) ・重点区域森林整備事業 79.05ha
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営管理アドバイザー等の配置により、森林環境譲与税を活用し、災害に強い森林づくりのため、災害の恐れのある森林の森林整備を実施した。 ・森林境界明確化については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業拡大できなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。 ・森林環境譲与税を活用し、災害に強い森林づくりを行う。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い健全な森林づくりに必要な経費を計上 ・市民等との協働による森林整備の促進、林業・森林の普及啓発に必要な経費を計上 ・高性能林業機械やICT機器の導入支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R4新規 <input type="checkbox"/> R4拡充 <input type="checkbox"/> その他重要事業 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> R5新規 <input type="checkbox"/> R5拡充	予算	会計	1	一般会計	担当課	林務課
枝番・内容	1 スマート林業の推進		<input type="checkbox"/> R4新規 <input type="checkbox"/> R4拡充 <input type="checkbox"/> その他重要事業 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> R5新規 <input type="checkbox"/> R5拡充		款	5	農林水産業費		
				項		3	林業費	内線	2235	
				目		2	林業振興費	作成年月	R5.2	

事業の目的・概要(Plan)

目的	木材生産区域、環境保全区域、観光景観区域、生活環境区域の4つに分けた市内の民有林について、それぞれの区域ごとに100年後の望ましい姿に向けた森林づくりについて、森林環境譲与税などの活用により推進する。	概要	林業において、木材の生産性の向上や労働安全の確保を図るため、様々な工程においてICT技術の活用や機械化といったスマート林業を推進し、ICT技術を導入する経費や機械化導入に必要な技術習得について支援する。
----	--	----	---

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R5予算査定(Action) (千円)

査定額	当初	5,000
主な経費	委託料、補助金	
対前年度増減額(当初予算)		5,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>国や県の支援が受けられない林業事業者に対し支援</p> <p>①ICT技術活用支援 森林管理・調査に必要な、測量技術やデジタル測量機器(データ解析ソフト)の購入に係る経費を支援</p> <p>②機械化技術習得支援 高性能林業機械の導入に必要な操作やメンテナンスなどの技術習得を希望する事業者が、通常の1/2程度の機械リース料で、機械の貸し出しに加え技術指導も受けられるよう、リース会社へ研修業務を委託</p>
[スケジュール]	<p>4~5月 募集 6月 決定、事業開始</p>

事業シート(令和5年度予算)

事業名	53300 分収造林整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	
			款	5	農林水産業費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	3	林業費		根拠計画				森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
			目	3	分収造林費						
担当課	林政部 林務課	内線	2233								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐等の施策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
木材生産量	94,182m ³		149,000m ³
伐採された木材の利用率	56%		50%

2.事業の実施結果等(Do)

		R3			R4		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		12,184	8,983	24,088			
特定財源	国費()						
	県費(県環境保全林整備事業)			10,000			
	その他(分収造林事業受託収入)	12,100	8,920	14,000			
一般財源		84	63	88			
個票枝番	主な事業内容						
	分収造林の整備	12,100	8,920	24,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		20,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
21,636	21,594	21,594	△ 2,494	
9,544	10,500	10,500	500	
11,056	11,000	11,000	△ 3,000	
1,036	94	94	6	
査定額	説明			
20,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 9.67ha (荘川地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公団)分収造林地の効率的な管理を行うため、管理業務の等について検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な分収林の管理に必要な経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおりに